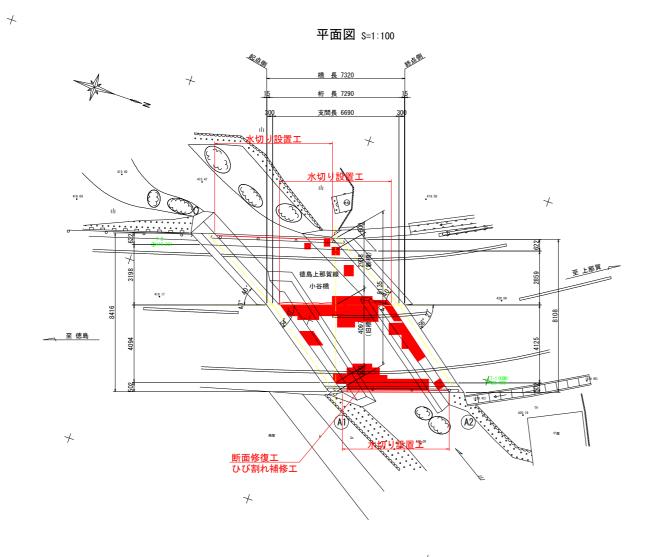
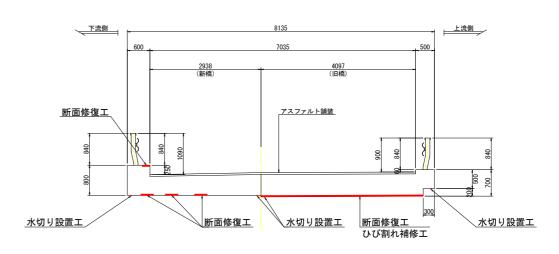
小谷橋 補修計画一般図

側面図 S=1:100 支間長 6690 断面修復工 ひび割れ補修工 至 上那賀 人 至 徳島 \bigcirc A1) <u>断面修復工</u> ひび割れ補修工 断面修復工



断面図 S=1:50

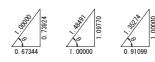


小谷橋 補修工事内容一覧

1.0.0 lib lib lib T 1.1.0.	56
工種	仕 様
断面修復工	ポリマーセメントモルタル
ひび割れ補修工	エポキシ樹脂低圧注入,可とう性エポキシ樹脂充填
水切り設置工	あと施工型 (軟質PVC)

- 注記) 1. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を
- 行うこと。 2. 寸法は、現場実測後決定する。

斜 角(θ=47° 40')



A1橋台側斜角(θ=54°37') A2橋台側斜角(θ=56°27')

大 市 名 R6徳土 徳島上那賀線(小谷橋) 上勝・旭 橋梁修繕工事(担い手確保型) (着手日指定型) 勝浦郡上勝町旭(小谷橋) 縮尺 図面番号 会 社 名 事業者名 徳島県東部県土整備局<徳島>

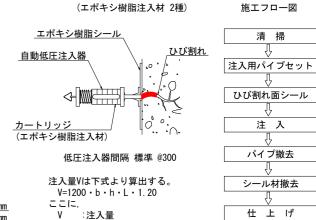
小谷橋 補修工詳細図(1/2)

上部工 補修図

床版下面(平面図) S=1:50

ひび割れ補修工(上部工)





1200 :エポキシ樹脂系注入材比重 :ひび割れ幅

:ひび割れ深さ

:ひび割れ延長 1 20:ロス率

1. 施工前に現地計測を行い,施工範囲及び施工数量について協議を行 い決定すること。

2. 注入工法の注入材は、エポキシ樹脂注入材2種を基本とする。 ただし、施工性等から材料、種別等を変更する場合は協議を行い決 定すること。

3. 注入深さは、50mmに設定している。

4. 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

ひび割れ補修工(低圧注入工法) 番号 | 幅(mm) | 長さ(m) | 深さ(m) | 注入量(kg) 備考 1.40 0.05 床版下面 (1) 0. 20 0.017 0. 50 0. 70 0.05 0.021 (2)

合計

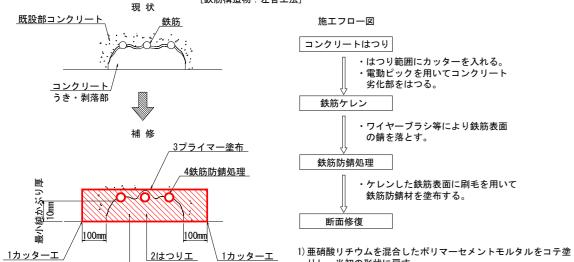
0.038

"

(10) 断面修復工 (4) 断面修復工 W170xL210x1/2mm (9) 断面修復工 W400xL400mm (5) 断面修復工 W170xL370x1/2mm W400xL300mm 2-2 (11)断面修復工 (6)断面修復工 W200xL370mm 8 0 550 W450xL2100mm (8)断面修復工 400 (1)断面修復工 W210xL720x1/2mm (2)断面修復工 W210xL550x1/2mm W300xL300mm (13)断面修復工 W250xL810x1/2mm (14) 断面修復工 W250xL1020x1/2mm (1) ひび割れ注入工 WO. 2mm L1. 40m (2) ひび割れ注入工 WO. 5mm LQ. 70m (22)断面修復工 W770xL410mm (23)断面修復工 W600xL760x1/2mm (15)断面修復工 W570xL920x1/2mm 4240 (24) 断面修復工 W600xL1150x1/2mm (16)断面修復工 W570xL510x1/2mm (3)断面修復工 (25)断面修復工 W740xL480x1/2mm (17)断面修復工 W570xL4240mm 510 1110 W200xL550mm (26)断面修復工 W740xL970x1/2mm (18) 断面修復工 W200xL1110mm (27)断面修復工 W840xL490x1/2mm <u>(19)断面修復工</u> W730xL730mm (28)断面修復工 W500xL490x1/2mm (20)断面修復工 W600xL910mm (21)断面修復工 W300xL1230mm 730 (29) 断面修復工 W270xL730mm 3_ (30)断面修復工 W730xL230x1/2mm (31)断面修復工 W570xL230x1/2mm \bigcirc A1) (A2) (32)断面修復工 W200xL1000mm (36) 断面修復工 (33)断面修復工 W400xL1710mm W450xL420mm 3-3 (7)断面修復工 (34) 断面修復工 W200xL2110mm W180xL1500mm (35) 断面修復工 W690xL4310mm

断面修復工

[鉄筋構造物:左官工法]



5断面修復材

断面修復材量Vは下式より算出する。

:断面修復材量

V=W • L • t • 1.18

:修復幅

:修復長

:修復厚 1.18:ロス率

ここに,

- りし、当初の形状に戻す。 2)1回の埋め戻し厚は、20~30mmを標準とし、下層モルタルが十分
- 硬化したことを確認したうえで、次層のモルタルを塗り重ねる。 3) 露出させた鉄筋の背面側には、断面修復材が回りにくいため、
- 特に入念に埋め戻す必要がある。
- 4) 断面修復厚さは、各部材で設定している。

橋面(平面図) S=1:50

面修復	夏工(左官)	[法]			
番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0. 21	0. 72	0. 05	0.004	下流側地覆※
(2)	0. 21	0. 55	0. 05	0.003	<i>"</i> ×
(3)	0. 20	0. 55	0. 05	0.006	下流側地覆側面
(4)	0. 17	0. 21	0. 05	0.001	下流側地覆※
(5)	0. 17	0. 37	0. 05	0.002	<i>"</i> *
(6)	0. 20	0. 37	0. 05	0.004	下流側地覆側面
(7)	0. 18	1. 50	0. 05	0.014	上流側地覆
(8)	0. 30	0. 30	0. 05	0.005	床版下面
(9)	0. 40	0. 30	0. 05	0.006	"
(10)	0. 40	0. 40	0. 05	0.008	"
(11)	0. 55	0. 48	0. 05	0. 013	"
(12)	0. 45	2. 10	0. 05	0.047	"
(13)	0. 25	0. 81	0. 05	0.005	床版下面※
(14)	0. 25	1. 02	0. 05	0.006	<i>"</i> *
(15)	0. 57	0. 92	0. 05	0. 013	<i>"</i> *
(16)	0. 57	0. 51	0. 05	0.007	<i>"</i> *
(17)	0. 57	4. 24	0. 05	0. 121	床版下面
(18)	0. 20	1. 11	0. 05	0. 011	"
(19)	0. 73	0. 73	0. 05	0. 027	"
(20)	0. 60	0. 91	0. 05	0. 027	"

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(21)	0. 30	1. 23	0. 05	0. 018	床版下面
(22)	0. 77	0. 41	0. 05	0. 016	"
(23)	0. 60	0. 76	0. 05	0. 011	床版下面※
(24)	0. 60	1. 15	0. 05	0. 017	<i>"</i> *
(25)	0. 74	0. 48	0. 05	0.009	" ×
(26)	0. 74	0. 97	0. 05	0. 018	<i>"</i> *
(27)	0. 84	0. 49	0. 05	0. 010	<i>"</i> *
(28)	0. 50	0. 49	0. 05	0. 006	<i>"</i> *
(29)	0. 27	0. 73	0. 05	0. 010	床版下面
(30)	0. 73	0. 23	0. 05	0. 004	床版下面※
(31)	0. 57	0. 23	0. 05	0. 003	" ×
(32)	0. 20	1.00	0. 05	0. 010	床版下面
(33)	0. 40	1. 71	0. 05	0. 034	"
(34)	0. 20	2. 11	0. 05	0. 021	"
(35)	0. 69	4. 31	0. 05	0. 149	"
(36)	0. 45	0. 42	0. 05	0.009	"
			合計	0. 675	

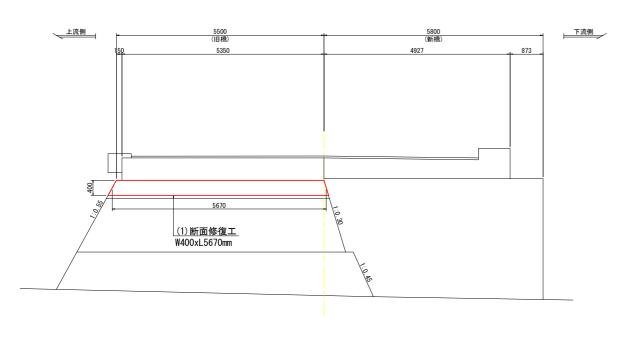
- 1. 断面修復材は、亜硝酸リチウムを混合したポリマーセメントモルタルを基本とする。 ただし、施工性等から材料を変更する場合は協議を行い決定すること。
- 82. 修復厚さは、現橋調査結果より、純かぶり25mm+主鉄筋φ20.9mm=>50mm に設定している。
- 3. 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
- 4. 鉄筋構造物は鉄筋の裏側まではつることを原則とする。 ただし、鉄筋の腐食状況等を確認した上、はつり厚さを変更する場合は協議を行い 決定すること。
- 5. 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

実施設計	図面						
工事名	R6徳土 徳島上那賀 橋梁修繕工事(担						
路線名等	徳島上那賀線	徳島上那賀線					
工事箇所	勝浦郡上勝町旭	勝浦郡上勝町旭(小谷橋)					
図面名	小谷橋 補修工計	小谷橋 補修工詳細図(1/2)					
縮尺	図示	図面番号	2 / 3				
会社名							
事業者名	徳島県東部県土	整備局<徳島	i>				

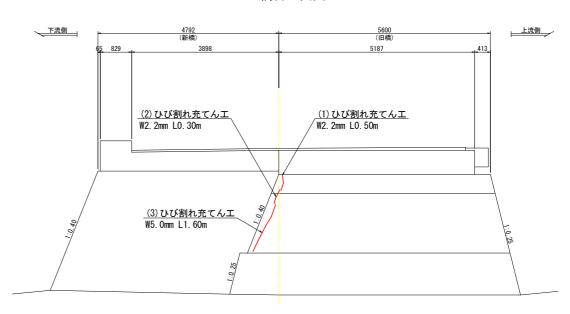
小谷橋 補修工詳細図(2/2)

下部工 補修図

A1橋台正面図 S=1:50

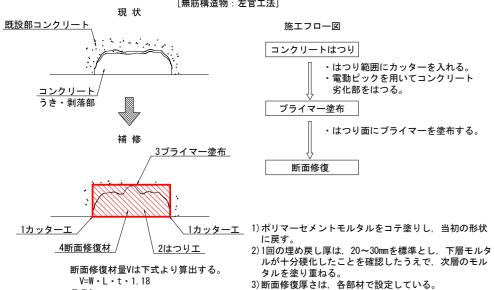


A2橋台正面図 S=1:50



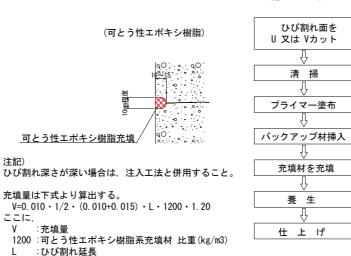
断面修復工



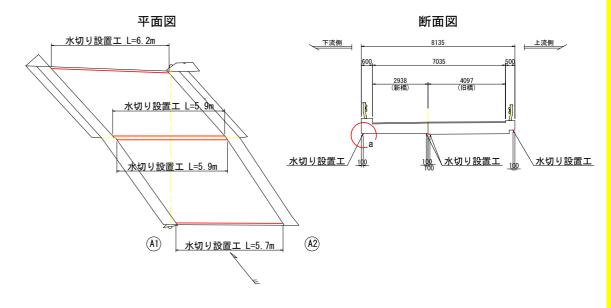


ひび割れ補修工(下部工) [充てん工法]

施工フロー図



水切り設置工詳細図 S=1:100



ここに、 :断面修復材量

- :修復幅
- :修復長 :修復厚

1.18:ロス率

- 1. 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行
- 2. 充填工法の充填材量は、可とう性エポキシ樹脂系充填材を標準とし
- 3. 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

1.20:ロス率

- ている。ただし、施工性等から材料を変更する場合は協議を行い決

- 1. 無筋構造物の断面修復材は、ポリマーセメントモルタルを基本とする。 ただし、施工性等から材料を変更する場合は協議を行い決定すること。
- 2. 修復厚さは、現橋調査結果より、下部工:30mm に設定している。 3. 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
- 4. 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

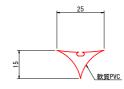
断面修復工(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考			
(1)	0. 40	5. 67	0. 03	0.068	A1橋台正面			
			合計	0. 068				

ひび割れ補修工(充てん工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	充填量(kg/m3)	備考
(1)	2. 20	0. 50	0. 075	A2橋台
(2)	2. 20	0. 30	0. 045	"
(3)	5. 00	1. 60	0. 240	"
		合計	0. 360	

水切り詳細図(a部) S=1:1



水切り設置施エフロー

貼り付け面清掃
<u> </u>
専用接着剤(エポキシ樹脂)塗布
<u>.</u>
水切り貼り付け

実施訟	計	図面						
工事	名				線(小谷橋 い手確保型)			[型]
路線名	等	徳島	上那賀紅	泉				
工事筐	箇所 勝浦郡上勝町旭(小谷橋)							
図面	名	小谷	小谷橋 補修工詳細図(2/2)					
縮	尺	[図示		図面番号	3	/	3
会 社	名							
事業者	名	徳島県東部県土整備局<徳島>						